

『なんてこともない』 作..ポチ子

なんてこともない人生でした。

目指す目標もなく、

誇れるものがあるわけでもなく、

同情を誘うような不幸、

目も当てられない悲惨な過去などありません。

人を大笑いさせるユーモアも、

人の心を折る残虐さも、

特に持ち合わせておらず、

私の中にあるのは、

誰かが体験していそうな、

同じようなエピソードばかりです。

しかし、自分を惨めだとも思いません。

思うほど、

何かがあったわけではないのですから。

人生の終わりに、

自分は何を思うだろうと、ずっと考えていました。

今なら分かる気がします。

ただ時間が流れるだけ、

時間が流れてゆくだけです。